

国際物流ニュース(2018年2月号)

国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



物流から見たおせち料理

東京税関のサイトに面白い情報がありました。「貿易統計でおせちを料理しちゃいました！」というおせち料理に使われる食材に関する特集です。輸入食材の輸入量と輸入金額が、おせち料理にこめられた意味やかわいらしいイラストと一緒に掲載されています。

[HTTP://WWW.CUSTOMS.GO.JP/TOKYO/ETU/FTP/TOKUSYU.HTM](http://www.customs.go.jp/tokyo/etu/ftp/tokusyu.htm) からリンクしています。

輸入統計なので一見おせち料理の素材ですら相当量が輸入に頼っているのかと思ってしまいましたが、よく見ると国内収穫量や国内漁獲量も掲載されています。大豆は93%、にしんは約半分が輸入ですが、栗や里芋、ゴボウなど農作物は70%~80%が国産です。様々な国の食材が使われていますが、日本も頑張っていると思いました。

おせち料理を注文する時代。以前貧相な食材が届く事件がありました。今年の正月は年末に倉庫やドライバー不足といった物流の人手不足で大混乱したところがあったと聞きました。

個人の不正輸出

経産省が16年度に輸出許可した規制品取引の大半は企業からの申請で、順法な取引でした。反対に個人輸出は不正の取り締まりが難しく、さらに取引や契約成立がネットオークションやチャットアプリで行われているため実態把握が困難です。

先ごろも定価数千万円するある精密機器（規制品）が廃棄物として流出し、ネットオークションで55万円で落札した留学生が、250万円で買い手を見つけ輸出しようとして外為法違反で書類送検されました。

国によって不正輸出に対する対応は差があり、日本は発覚するたびに対応しているのが現状です。

関西総合システムからのお知らせ

【セミナーのご案内】

食品輸出入 貿易現場と今後

農産物や食品の輸出促進の機運が高まり、食品の貿易量が増加しています。食品の輸出入現場の課題とその解決策をご紹介します。

日時 2018年2月22日(木) 東京

場所 NEC イノベーションワールド(品川)

日時 2018年2月28日(水) 大阪

場所 NEC イノベーションワールド(関西)



関西総合システム株式会社

<http://www.kisnet.co.jp>